



## 平成26年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年3月13日

上場会社名 株式会社オハラ 上場取引所 東  
 コード番号 5218 URL http://www.ohara-inc.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 弘和  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中島 隆 TEL 042 (772) 2101  
 四半期報告書提出予定日 平成26年3月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年10月期第1四半期の連結業績（平成25年11月1日～平成26年1月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第1四半期	8,424	32.3	420	—	628	218.4	33	△52.3
25年10月期第1四半期	6,369	△14.8	△415	—	197	△45.9	69	△67.0

(注) 包括利益 26年10月期第1四半期 666百万円 (△59.5%) 25年10月期第1四半期 1,644百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第1四半期	1.36	—
25年10月期第1四半期	2.85	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年10月期第1四半期	53,955	39,357	72.1	1,598.51
25年10月期	54,582	38,971	70.5	1,582.67

(参考) 自己資本 26年10月期第1四半期 38,884百万円 25年10月期 38,499百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年10月期	—	—	—	—	—
26年10月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注2) 当社は定款において4月30日（第2四半期末日）及び10月31日（期末日）を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

### 3. 平成26年10月期の連結業績予想（平成25年11月1日～平成26年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	13,800	9.8	390	—	670	73.3	160	△61.2	6.58
通期	26,100	△0.0	590	—	910	18.9	410	—	16.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー 社、除外 ー 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年10月期1Q	25,450,000株	25年10月期	25,450,000株
② 期末自己株式数	26年10月期1Q	1,124,474株	25年10月期	1,124,474株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年10月期1Q	24,325,526株	25年10月期1Q	24,325,526株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、先進国を中心に持ち直しの動きが見られました。アジア地域では、中国において成長の鈍化が見られたものの、総じて堅調に推移しました。米国経済は、雇用環境の改善が続く、緩やかな回復に向かいました。欧州経済は、依然脆弱性を抱えるものの、持ち直しの動きが見られました。日本経済は、輸出の持ち直しや個人消費の底堅い推移を受け、緩やかな回復が続きました。

当社グループの光事業の関連市場では、デジタルカメラは、コンパクトタイプの市場縮小が続く、レンズ交換式タイプも、海外市場において低調に推移しました。一方、エレクトロニクス事業の関連市場においては、露光装置は、半導体向け、液晶向けともに堅調に推移しました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

売上高は8,424百万円（前年同期比32.3%増）、売上総利益は1,897百万円（同126.0%増）、販売費及び一般管理費は1,477百万円（同17.7%増）、営業利益は420百万円（前年同期は415百万円の営業損失）、経常利益は628百万円（前年同期比218.4%増）、四半期純利益は33百万円（同52.3%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの経営管理の効率化を図るため、連結子会社の決算日を8月31日（一部子会社は9月30日）から当社の連結決算日である10月31日に変更したことに伴い、当第1四半期連結累計期間には、当該子会社の平成25年9月及び10月の2ヶ月間（一部子会社は平成25年10月の1ヶ月間）における業績を反映しております。前年同期と比較するため、上記期間の実績を除いた当期調整後の業績は次のとおりであります。

	前年同期 (百万円)	当期調整後 (百万円)	増減率 (%)
売上高	6,369	5,724	△10.1
売上総利益	839	1,355	61.5
販管費及び一般管理費	1,255	1,146	△8.6
営業利益	△415	208	—

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、営業費用の配賦方法を変更しております。セグメント情報の期間比較可能性を確保するために、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報について、営業費用の配賦方法変更後の金額を記載しております。詳細は、3. 四半期連結財務諸表（5）セグメント情報等をご覧ください。

#### ① 光事業

当事業の売上高は6,044百万円（前年同期比19.2%増）、営業利益は451百万円（同20倍）となりました。決算期を変更した連結子会社の平成25年9月及び10月の2ヶ月間（一部子会社は平成25年10月の1ヶ月間）における業績を除くと、売上高は4,025百万円（前年同期比20.6%減）、営業利益は142百万円（同6倍）となりました。デジタルカメラ向け光学機器用レンズ材の顧客在庫調整が長期化したことにより、当事業の主力製品であります光学プレス品の販売が減少し、光学ブロック品も加工メーカー向けの販売が減少いたしました。一方、レアアース原料の価格高騰による影響は緩和されたほか、固定費の削減に努めたことにより、営業利益は増加いたしました。

#### ② エレクトロニクス事業

当事業の売上高は2,379百万円（前年同期比83.5%増）、営業損失は31百万円（前年同期は438百万円の営業損失）となりました。決算期を変更した連結子会社の平成25年9月及び10月の2ヶ月間における業績を除くと、売上高は1,698百万円（前年同期比31.0%増）、営業利益は66百万円（前年同期は438百万円の営業損失）となりました。露光装置向け高均質光学ガラスや石英ガラスの販売は減少いたしました。また、特殊用途向け極低膨張ガラスセラミックスの販売は増加いたしました。また、極低膨張ガラスセラミックスの販売増に加え、前連結会計年度末にハードディスク用ガラス基板事業から撤退した影響により、営業利益は増加いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は53,955百万円（前連結会計年度末比1.1%減）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品の減少があったことなどによるものであります。

流動資産の残高は26,236百万円（同4.2%減）となりました。これは、たな卸資産のうち、商品及び製品が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことなどが主な要因であります。

固定資産の残高は27,719百万円（同1.9%増）となりました。これは、有形固定資産において、海外子会社の設備投資が進んだこと及び投資その他の資産において、持分法適用会社の持分評価が増加したことが主な要因であります。

流動負債の残高は9,813百万円（同7.7%減）となりました。これは、未払金などが増加したものの、支払手形及び買掛金が減少したことが主な要因であります。

固定負債の残高は4,784百万円（同3.9%減）となりました。これは、長期借入金が返済により減少したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は39,357百万円（同1.0%増）となりました。これは、剰余金の配当などにより利益剰余金が減少したものの、為替換算調整勘定が円安により増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の状況を踏まえ、平成25年12月12日公表の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,526,694	9,609,904
受取手形及び売掛金	7,130,731	6,396,520
商品及び製品	1,853,421	2,068,094
仕掛品	5,280,651	5,076,908
原材料及び貯蔵品	2,947,606	2,710,442
繰延税金資産	29,713	33,633
その他	631,432	366,238
貸倒引当金	△22,698	△25,286
流動資産合計	27,377,552	26,236,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,832,112	12,668,913
減価償却累計額	△5,860,871	△6,077,082
建物及び構築物（純額）	5,971,241	6,591,830
機械装置及び運搬具	19,011,388	19,900,349
減価償却累計額	△15,791,534	△16,266,277
機械装置及び運搬具（純額）	3,219,854	3,634,071
工具、器具及び備品	12,398,480	12,432,359
減価償却累計額	△2,136,513	△2,197,972
工具、器具及び備品（純額）	10,261,967	10,234,387
土地	317,065	327,893
建設仮勘定	940,988	263,790
有形固定資産合計	20,711,117	21,051,972
無形固定資産	106,282	100,418
投資その他の資産		
投資有価証券	5,104,125	5,255,471
長期貸付金	460,000	460,000
繰延税金資産	87,929	91,821
その他	739,776	764,139
貸倒引当金	△4,350	△4,350
投資その他の資産合計	6,387,480	6,567,081
固定資産合計	27,204,879	27,719,473
資産合計	54,582,432	53,955,929

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,521,863	1,429,283
電子記録債務	—	615,666
短期借入金	6,055,550	6,006,240
未払法人税等	277,338	93,592
繰延税金負債	81,287	122,940
賞与引当金	565,467	188,423
役員賞与引当金	62,850	23,285
未払金	527,054	854,958
その他	538,994	479,038
流動負債合計	10,630,406	9,813,428
固定負債		
長期借入金	2,824,301	2,657,600
繰延税金負債	1,019,798	993,110
退職給付引当金	839,039	830,163
役員退職慰労引当金	197,656	206,741
環境対策引当金	3,725	3,725
資産除去債務	92,949	92,949
その他	2,676	671
固定負債合計	4,980,146	4,784,963
負債合計	15,610,553	14,598,391
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,855,000	5,855,000
資本剰余金	7,930,785	7,930,785
利益剰余金	24,983,805	24,773,620
自己株式	△1,549,049	△1,549,049
株主資本合計	37,220,542	37,010,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,694,394	1,662,113
為替換算調整勘定	△415,700	212,197
その他の包括利益累計額合計	1,278,694	1,874,310
少数株主持分	472,642	472,869
純資産合計	38,971,879	39,357,537
負債純資産合計	54,582,432	53,955,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)
売上高	6,369,466	8,424,650
売上原価	5,529,818	6,527,087
売上総利益	839,648	1,897,562
販売費及び一般管理費	1,255,118	1,477,401
営業利益又は営業損失(△)	△415,470	420,161
営業外収益		
受取利息	8,177	18,113
受取配当金	9,700	3,603
受取地代家賃	2,758	2,710
為替差益	547,537	204,133
持分法による投資利益	27,442	31,145
その他	51,649	33,446
営業外収益合計	647,267	293,153
営業外費用		
支払利息	21,455	33,355
固定資産除却損	6,660	50,337
その他	6,189	796
営業外費用合計	34,305	84,488
経常利益	197,491	628,826
特別損失		
事業整理損	—	204,394
のれん償却額	—	73,245
特別損失合計	—	277,639
税金等調整前四半期純利益	197,491	351,186
法人税等	122,075	293,067
少数株主損益調整前四半期純利益	75,415	58,118
少数株主利益	6,107	25,049
四半期純利益	69,308	33,069

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	75,415	58,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	567,032	△32,281
為替換算調整勘定	834,934	491,261
持分法適用会社に対する持分相当額	167,256	149,782
その他の包括利益合計	1,569,223	608,762
四半期包括利益	1,644,639	666,881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,613,091	628,686
少数株主に係る四半期包括利益	31,548	38,195

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年11月1日 至平成25年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光事業	エレクトロニクス事業	合計 (注)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	5,072,620	1,296,846	6,369,466
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,072,620	1,296,846	6,369,466
セグメント利益又は損失(△)	22,849	△438,320	△415,470

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年11月1日 至平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光事業	エレクトロニクス事業	合計 (注)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	6,044,741	2,379,908	8,424,650
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,044,741	2,379,908	8,424,650
セグメント利益又は損失(△)	451,597	△31,436	420,161

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更）

当第1四半期連結累計期間より、事業スピードの向上及び事業別採算管理の徹底を目的として、事業部制を導入したことに伴い、各報告セグメントに対する営業費用の配賦方法を変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報も、変更後の配賦基準で表示しております。

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

従来、連結子会社の決算日は8月31日又は9月30日であり、同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っておりましたが、当社グループの経営管理の効率化を図るため、当第1四半期連結会計期間より各社決算日を連結決算日に変更いたしました。

この変更により、当第1四半期連結会計期間は、決算日が8月31日の連結子会社については平成25年9月1日から平成26年1月31日までの5ヶ月間、決算日が9月30日の連結子会社については平成25年10月1日から平成26年1月31日までの4ヶ月間を連結しております。

なお、当第1四半期連結累計期間より決算期を変更した連結子会社の当該子会社の平成25年9月及び10月の2ヶ月間（一部子会社は平成25年10月の1ヶ月間）を除いた値は次のとおりであります。

	光事業	エレクトロニクス事業	合計
売上高			
（1）外部顧客への売上高	4,025,170	1,698,945	5,724,116
（2）セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,025,170	1,698,945	5,724,116
セグメント利益	142,698	66,176	208,875